



2021年 12月

第318号

The Service Club of The YMCA

東京八王子ワイズメンズクラブ

会長 山本 英次
副会長 茂木 稔
書記 花輪 宗命
会計 小口 多津子
直前会長 花輪 宗命
担当主事 中里 敦
プリテン 茂木 稔 山本 英次
大久保 重子

国際会長 キム・サンチュ(韓国) 主題「世界とともにワイズメン」
スローガン「愛と尊敬で世界を癒そう」
アジア太平洋地域会長 大野 勉(神戸ポート) 主題:「100年を越えて変革しよう」
スローガン:「健康第一」
東日本区理事 大久保 知宏(宇都宮) 主題:「私たちは次の世代のために何が出来るか」 スローガン「絆を深める時」
あずさ部部長 長谷川 あや子(八王子)
主題:「道を拓く～愛と協力によって」
クラブ会長 山本英次 主題:「コロナ禍を乗り越えて、新時代のクラブへ」

12月クリスマス会プログラム

日時: 12月18日(土) 17:00~20:00
会場: 八王子大学セミナーハウス
クリスマス例会(17:00~18:00) 交友館セミナー室B
懇親の夕べ(18:10~20:00) 本館多目的ホール
会費: メン2,000円 メネット・ゲスト2,500円
受付: 大久保・茂木
第1部 クリスマス例会
司会: 並木真一 奏楽: 永町匡世
第2部 懇親の夕べ
司会: 茂木稔 演奏: 永町匡世
会食: (特製お弁当)
お楽しみタイム
— ピアノ演奏 — 合唱
ハッピーバースデー 司会者
スマイル(多摩命の電話の為に)
閉会
記念撮影

「私と八王子クラブ」

中里 敦

私が八王子クラブの担当主事になったのは、西東京センターに異動して来た、2015年11月でした。
当時はYMCAに入職してから25年くらい経っており、もちろんワイズの存在は知っていましたが、担当主事は初めてで右も左も分からず、ワイズがどこに何クラブあるかも知りませんでした。また、ワイズ用語にも悩まされました。BF、CSなどなど飛び交う略語の数々、出席者のメンバー、ビジター、ゲストの分けも・・・?といった感じでした。例会への参加も緊張感を持ちながら始まったワイズライフでした。今思うとワイズのことを何も知らなかったその頃が、懐かしくもあります。そのような私を温かく

先月の例会ポイント (11月)

在籍	13名	切手(国内・海外)	0g
メン	13名	累計	0g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	100%	累計	0円
メネット	2名	スマイル	13,600円
ゲスト	1名	累計	44,800円
ビジター	4名	オークション	0円
ひつじぐも	0名	累計	0円

迎え入れてくれたのが八王子クラブでした。時の会長は

今月の聖句 (2021年12月)

さて、その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。すると、主の天使が現れ、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。天使は言った。「恐れるな、私は、すべての民に与えられる大きな喜びを告げる。今日、ダビデの町に、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。」

長谷川さんで、頭の回転と、仕事の速さに驚き、ワイズには頼もしい方がいるんだなあと感じたことも鮮明に覚えています。

そんな戸惑いを感じながらも、まず心がけたことは、出席第一でした。知っている方もいましたが、出席してまずは顔と名前を憶えること、関係を作ること、ワイズとはなに？を知ることを大切にしてきました。例会だけでなく会話の端々やチャリティーコンサート、街頭募金、会長感謝会、クリスマス祝会など通常の例会と違う場面を通しながらもそれぞれのお人柄、八王子クラブの成り立ちや思いも知ることができました。

また、西東京センターや会員部の主任主事としても、チャリティーラン、バザー、クリスマス会は、当たり前のようにご協力いただき、その他にも、会員部運営委員、西東京サポートチームでも八王子クラブのメンバーがいたことは心強かったです。

八王子クラブの特徴のひとつもとのつながりはYMCAにとってもプラスになりました。YMCAの活動にひとつもとのメンバーが参加したりと学Yと都市Yがコラボできたことも、八王子クラブの働きから生まれたものです。この関係は、IYC、AICなどユースを育てていく場にもなります。BOCGとのつながりもあり、今後も続くことを願います。

他に八王子クラブの力を感じるがあります。チャリティーコンサートの参加者が地域の方々に埋まること、卓話者も地域の方が多く、それらの地域とのつながりを持っているメンバーがたくさんいることです。卓話は地域を知る学びの時となっています。また、クラブの雰囲気も気楽に和気あいあいとアットホームさを感じます。八王子クラブらしさを無理なく続けることも大切なことだと感じます。

八王子クラブだけではありませんが、高齢化はワイズにとっての大きな課題です。人を巻き込める活動の展開がやはり必要になるのではないのでしょうか。具体的なものは持っていませんが、これからのクラブを一緒に考えることができたらと思っています。

そんなことから始まった八王子クラブも6年が経ち、今ではメンバーの一人として皆さんと会って、話せる楽しい居場所になっています。これからもよろしく願いいたします。

11月卓話「多文化共生のまちづくりを目指して」

茂木 稔

今回の花輪豊子さんの話を聞くまでは、彼女の所属している八王子国際協会がこれ程重要な任務を担っている団体とは、その名からは全く推測することは出来ませんでした。実際のそれは、日本に來ているか又は在住している外国からの人々の分からない事や困った事の相談・情報提供・日本語学習・通訳・医療ボランティア・子供の日本語教育・

留学生交流等と実に幅広い活動内容には大変な驚きでした。お恥ずかしい話ですがこの団体の印象では、私は国際交流を主体とした親睦団体で、各国の食べ物や、それらの国々の踊りなどの行事を主催したり後援するくらいしか考え



八王子国際協会 花輪豊子さんの卓話

ておりませんでした。ところが実際はそれらの人々の生活の隅々まで入り込んで支援活動を行っているのです。

それらは市の業務では手の届かない人々へNPOとして細やかな配慮をしています。現在、日本にいる外国人は総人口の約3%で、市内のそれは同じく3%の10,700人が居り、その中には3,500人も留学生がおり市内の23もの大学にいます。特に我々の居住地の北野周辺では、それら外国の労働者が多く、北野の日本水産の食品工場にはかなり沢山の外国からの労働者が居ると分かりました。そう言えば私の家の娘も大学生の時にこの日本水産の工場で夏休みの間アルバイトをしており、よく冷やしラーメンを土産に貰って来たものです。

特に私が心を打たれたのは、外国人の大人が入院した時に、少し日本語の解る子供が医師との日本語の通訳をするという話です。子供たちにとっては医療に関する言葉などとても知らないのが当たり前です。

その折にはこの団体の中でその国語が判る人が通訳として行くと言う話です。世界ではどれほどの数の言語の数が有るか知れませんが、その国の人が八王子に一人していると、この言語に対応出来る日本人の市民が居るとは限りません。欧米の国々と異なって、中央アジアやアフリカ中部の国々の言語に対応ことは殆ど殆ど困難ではないでしょうか。

最近ではE対応の機器が進歩して自動翻訳機も音声で入力して、同じく音声で出力する小型の手に乗る位のものも出回ってきております。便利にはなりましたがその際も心のケアが大切になってくるでしょう。

コロナ禍も第二段階のまた新しいウイルスがアフリカで出現したとの報もあり、この状態が場合に依っては数年間続くことも考えておかなければなりません。場合に依っては人類史に残る事になるかとも思われてきました。

花輪豊子さんの話は実に深い話であり、後々までも思い出しその話を咀嚼し続けています。

YMCA 便り

中里 敦

アドヴェントを迎え、街もますますクリスマスモードが漂うようになってきました。コロナ禍で楽ではありませんが、YMCA のそれぞれの事業も進められています。YMCA らしいプログラムが展開できることを願います。

- ◆11月13日、会員部主催の「ソシアス2021」（会員協議会）が東陽町センター及びオンラインで開催され、「YMCA の会員活動の活性化に向けて」をテーマに発題と分団で意見交換を行った。
- ◆11月23日、「東日本地区YMCA役員研修会」がオンラインで開催され、「YMCAにおける公民連携事業について」をテーマに、中林貴紀氏（茨城YMCA理事）と波多啓造氏（東京YMCAアフタースクール・公民連携事業統括）から発題があり、その後分団協議を行った。
- ◆全国23のYMCAは、「Amazon みんなでサンタクロースプログラム」（Amazonの企画による「ほしいものリスト」を活用したクリスマスチャリティーキャンペーン）に企画している。東京YMCAは、子ども食堂「下町こどもダイニング」や、日本語支援「にじいろサポート広場」に通う子どもたちへのクリスマスプレゼント（お菓子や文具）のご支援を、キャンペーンサイト上でアピールしている。

＜東京YMCA主な行事予定＞

- ・オンライン講演会「合理的配慮の実際ってどうなるの？～申請から実際までの流れ～」
12月4日 講師：吉野智子氏（早稲田大学障がい学生支援室コーディネーター）
- ・「第16回子育て講演会」1月29日（オンライン配信）
講師：汐見稔幸氏 テーマ：「ポストコロナ・これからの時代に向けて！子育てで大切にしたいこと」

ひっじぐも便り

国際ボランティアサークルひっじぐも

1年 永井さん

こんにちは、中央大学国際ボランティアサークルひっじぐもの永井です。私は先日野宿者支援給食活動に参加してきました。路上生活を余儀なくされている方々にお弁当や保存食、ホッカイロ、暖かい飲み物を配りました。

私は大学1年で、コロナ禍ということもあり、初めての対面でのボランティア活動でした。お弁当用の炊飯を終えたあと、礼拝に参加しました。実は今回参加させていただいた支援活動は教会の奉仕活動の一つで、法人化はされていないものです。

この活動の代表の方のお話によると法人化してしまうとどうしても支援以外のところにお金がかかってしまうため、支援をしてくださった方の献金を全て野宿者のために使えるように法人化はしないということでした。午後はお弁当を詰め、保存食などの準備をし、夜に代々木公園にて配布を行いました。煌びやかな渋谷の街の一角に100人近くの野宿をされている方々が集まっているのは衝撃的でした。私は野宿をされている方々はもっと高齢の方が多いと思っていましたが、おそらく50代と思われるような方もいらっしゃいました。現在、公園のベンチに肘置きを取り付け、野宿者されている方が横になれないようにするなど、野宿者の排除が行われています。コロナ禍での休業要請が行われたときはネットカフェ難民が多くいましたが、SNSではそのような方々に批判的で、支援は必要ないという風潮もありました。世間では野宿者を快く思わない人が多くいますが、野宿者の方々を守るため、私はできる範囲で今後も支援活動を行っていきたいと思います。

今月の聖句によせて（2021年12月）

世界中で祝われるクリスマス。今年もクリスマスの時を迎えました。クリスマスにはどのような意味があるのでしょうか。立教大学名誉教授で名譽神学博士であった菅 円吉先生は、「クリスマスとは、前古未曾有の出来事が起こったことを記念して、これを喜び祝う日である」と表現しています。そして、「その日のことをイエスの弟子で、しかも医者であったルカは、天の使いが羊飼いに語った言葉として、ルカによる福音書にこう述べている」、として、プリテン冒頭に掲げた今月の聖句の言葉を紹介しています。つまり、クリスマスとは、私たちの救い主が生まれたことを喜び祝う日なのだ、と。

救い主とはヘブル語では「メシア」、英語にすると「メサイア」、ギリシャ語にすると「キリスト」、そして、日本語では「救い主」。クリスマスになると、「メサイア」という宗教音楽がさかんに演奏されるのはこのため、ということです。

ところで、救い主とは、どういう意味なのか。ヘブル語にしてもギリシャ語にしても、その原語には、「健康にする」という意味が含まれている、ということです。

「医者を必要とするのは、丈夫な人ではなく病人である。私が来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである。」
（マルコによる福音書2:17）

イエスは、自分が救い主であることを医者に例え、人間のあらゆる病気、しかも根源的な病気、いわば、人間存在そのもの、魂の病気を癒すためにきた、といえます。

菅先生は、このように述べ、「人類の魂の医者が出現した日を記念して喜び祝う日がクリスマスなのだ」、と伝えています
並木信一

【 報告 】

高尾わくわくビレッジ

菅野牧夫

11月に入りコロナウイルスの感染者数も落ち着き、日常生活が少し戻ってきました。わくわくビレッジも宿泊者が戻り始めています。11月の宿泊者数は1512名になり、昨年の2.5倍、平年の6割ほどに回復してまいりました。学校団体の利用も昨年度と比較すると急激に増加して、館内に子どもたちがあふれる日も出てきました。オミクロン株のコロナウイルスの流行が気がかりではありますが、とりあえずほっと一安心しています。

わくわくビレッジでは毎年11月にフェスティバルというイベントを行っています。当日は原っぱを駐車場にしなければいけないほどお客様が遊びに来てにぎわっています。例年、鉄道模型のパノラマやプロジェクトアドベンチャーの体験、ピザ作り、リーダーのゲームコーナー、マルシェや福祉団体のお店などたくさんのイベントが実施されます。昨年度は中止になってしまいましたが、今年は規模を縮小して行われました。いつものフェスティバルと比較するとお客さんも少なく、寂しい雰囲気でしたが、子どもたちの職業訓練ができるイベントやプロジェクトアドベンチャーの体験イベント、リーダーたちのゲームコーナー等を開催して子どもたちにとって楽しい一日となりました。

11月中旬よりわくわくビレッジに新しいスタッフ西嶋健太君が加入しました。10代までニューヨークに住んでおり、フロストバレーに私がディレクターで働いていた。日本の大学を卒業しYMCAで5年働きました。その後で働くことになりました。お会いした際はよろしくお願ひします。



12月の誕生日の皆さん
対象者はおりません

◇ 11月13日(土) 11月第一例会(ハイブリッド例会)

出席者: 山本・長谷川・小口・久保田・中里・花輪・並木(信) 茂木・大久保・菅野・望月

メネット: 久保田・花輪

ビジター: 吉田明弘・鳥越成代・本川悦子(以上西ヶ谷) 田中博之(多摩みなみヶ谷)・中野裕子(ゲスト)

Zoom参加者: 漆原義彦・石田幸次・伊藤幾夫・篠原文恵・佐藤茂美・渡辺伊純・渡辺敦・藤原博子・北田玲子・森田ゆう子・滝本喜久江・高橋陽子

11月卓話: 「多文化共生のまちづくりをめざして」

八王子国際友好クラブ 花輪豊子さん(直前会長様)

◇ 11月27日(土) 11月第二例会

出席者: 山本・長谷川・小口・久保田・中里・花輪・並木(信)・大久保・福田・茂木

福田勝江さん11月末で退会(引っ越しに依るもの)

12月クリスマス会について 並木さんより説明

切手の整理 コンサートのチラシとチケットの配布

◇ スマイル10月・11月 合計25,000円を熱海・伊豆山地区土砂災害に伴う、静岡YMCA活動に寄付

今月のブリテンの編集に於いて、大変困ったことが発生しました。色々試してみましたが回復ができません。

見苦しい物になりましたがご容赦下さい。 茂木